

令和 5 年 5 月 31 日現在

機関番号：32621

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18K11825

研究課題名(和文) ロシアの国家資本主義(ステート・キャピタリズム)の政治経済的研究と他新興国比較

研究課題名(英文) State capitalism with Russian characteristics: toward a comparative analysis of emerging economies

研究代表者

安達 祐子 (Adachi, Yuko)

上智大学・外国語学部・教授

研究者番号：90449083

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、資源大国ロシアにおける国家資本主義(ステート・キャピタリズム)の台頭について、その拡大傾向と発展の背景と意味、およびその仕組みと影響を、ソ連邦解体後に市場経済への体制転換過程で生成された政府と企業の間機能する特有の相互関係を踏まえ、(1)市場と政府との関係、(2)資源と企業の役割、(3)公式(フォーマル)制度と非公式(インフォーマル)な制度の連関を軸に、明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現代ロシアを分析対象としたステート・キャピタリズムに関する学術的考察は、多くの未踏領域を残している。本研究の学術的意義は、政府や国営企業が影響力を拡大する「ロシア型国家資本主義」の仕組みを、現代ロシアを理解する鍵であるインフォーマリティ(非公式性)に着目しながら明らかにしたことにあると考える。また、ロシアによるウクライナ侵攻が続くなか、現代ロシアの国家資本主義的な政治経済の構図を解明することは、ロシアの政治経済体制を理解する手がかりを提供するという点で、社会的意義があると考えられる。

研究成果の概要(英文)：This study examines the rise of state capitalism in Russia, focusing on the development of state-business relationships that emerged since the collapse of the Soviet Union. Having scrutinized the following three areas, namely, the relations between the government, the roles of natural resources and firms, and the linkage between formal and informal institutions, the study has revealed the inner workings of the Russian political economy, which can be characterized by "Russia-style State Capitalism."

研究分野：地域研究関連

キーワード：ロシア 国家資本主義 政府と企業 非公式制度 ロシア企業 ステート・キャピタリズム

1. 研究開始当初の背景

リーマン・ショックに端を発したグローバル金融危機や、政府や国有企業が重視される新興諸国の台頭を受け、経済における国家の役割が注目されるようになった。実際、国有企業、民間巨大企業、政府系ファンドなどの機能が高まることで国家は主要な経済アクターとして看過できない存在となっている。近年、ロシアや中国など、市場メカニズムを受け入れながら国家の影響力強化を追求し、政府が経済において支配的な役割を担う国々が台頭し、「国家資本主義」として位置づけられるようになった。

ロシアでは2000年に始動したプーチン政権下で資源・エネルギーなど政府によって「戦略的」とみなされる分野での国家による介入が進んだ。例えば、地下資源開発、航空、軍需、原子力産業において、国家管理が強化され政府系企業が躍進した。このような状況から政府や国営企業が影響力を拡大するロシア型「国家資本主義」が形成されたとみられているが、その動きに関する分析は多くの未踏領域を残していた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、ユーラシア地域大国の中国やロシアで台頭する「国家資本主義」について、その拡大傾向と発展の背景と意味、およびその仕組みとグローバルな影響を体系的に解明することにある。研究の主眼となるのは、国家資本主義のうごきについての分析が中国に比べ極めて不十分な状況にあるロシアの事例の検証である。本研究は、資源大国ロシアにおける国家資本主義の台頭を、ソ連邦解体後に市場経済への体制転換過程で生成された政府と企業間に機能する特有の相互浸透関係をふまえ、(1)市場と政府の関係、(2)資源と企業の役割、(3)公式(フォーマル)と非公式(インフォーマル)な制度の連関を軸に明らかにすることを目的とした。

3. 研究の方法

ロシアの国家資本主義の分析を、その基軸となる戦略的産業分野における国家主導についての検証を中心に深化させることから着手した。主な視点として、現代ロシアにおけるロシア企業システムの特徴、国家産業支配の背景と特質、ロシア企業管理メカニズムの特殊性に関する分析を通じ、ロシア型の国家資本主義の仕組みの解明を行なった。

文献調査と現地調査を有機的に組み合わせる予定であったが、Covid-19の影響により、在外調査などの見直しを余儀なくされた。現地調査に代わって文献調査を中心に研究をすすめることになったが、オンラインでのヒヤリングなども取り入れることによって、効果的に研究することができた。

4. 研究成果

ロシア型国家資本主義(ステート・キャピタリズム)の様相について、ソ連邦解体後の市場経済への体制転換過程で展開をみたロシアの国家企業間に内在する相互浸透関係を踏まえ、以下の点を中心に明らかにした。

- ・資源大国ロシアにおける企業システムは、国家部門の影響力の高さ、資源部門のプレゼンスの大きさ、大企業の市場支配度の高さが顕著であることを実証し、企業システムの特徴とその政治経済的意義を示した。

- ・現代ロシアでは、国家産業支配と企業管理のメカニズムの特質は「インフォーマル・ガバナンス」を手がかりとして理解できることの有用性を示した。資源など戦略的分野においては特に、このインフォーマルガバナンスが国家主導型経済のツールとして戦略的企業体の支配・管理・運営にみられる動作原理となっており、ロシア型国家資本主義の重要な特徴であることを明らかにした。

- ・とりわけ本研究の学術的独自性が成果として反映されたのは、現代ロシアを理解する鍵であるインフォーマリティ(非公式性)に着目し、公式制度と非公式慣行との交差と影響について検証した点にあると考える。

- ・研究期間全体を通じ、近年国際秩序のあり方に影響を及ぼし地政学的関心も高まる新興国や

資源国の国家資本主義的な政治経済の実態の研究をロシアを軸に実施した。研究実績として、ロシアの戦略的産業分野における国家主導を特徴とするステート・キャピタリズムについての成果をはじめ、国内外の学会で報告をおこない、国内外の複数の査読誌を含む論文を刊行することができた。

本研究の成果がもたらしうる学術的意義および社会的意義は以下のとおりである。

- ・現代ロシアを分析対象とした国家資本主義に関する学術的考察は、いまだ不十分な点が残っている。本研究の学術的意義は、政府や国営企業が影響力を拡大する「ロシア型国家資本主義」の仕組みを、現代ロシアを理解する鍵であるインフォーマリティ（非公式性）に着目しながら明らかにしたことにある。

- ・本研究でなされた検討は、他の新興国や産油国、ポスト共産主義国などの経済制度分析に新たに視座を与え、国家資本主義の国際比較に役立つ枠組みに発展するものであるといえよう。

- ・また、ロシアによるウクライナ侵攻が続くなか、現代ロシアの国家資本主義的な政治経済の構図を解明することは、ロシアの政治経済体制を理解する手がかりを提供するという点で、社会的意義があると考えられる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 Iwasaki Ichiro, Adachi Yuko	4. 巻 -
2. 論文標題 Legal Weakness, Investment Risks, and Distressed Acquisitions: Evidence from Russian Regions	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Comparative Economic Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1057/s41294-022-00203-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 安達 祐子	4. 巻 60
2. 論文標題 プーチン政権下における国家産業支配と企業管理：現代ロシアの「インフォーマル・ガバナンス」の視点から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Comparative Economics	6. 最初と最後の頁 1_1～1_12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.5760/jjce.60.1_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 安達祐子・岩崎一郎	4. 巻 159
2. 論文標題 危機下ロシアの大企業体制と国家産業支配	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ERINA REPORT PLUS	6. 最初と最後の頁 36-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 安達祐子	4. 巻 162
2. 論文標題 危機下におけるロシアの国家-企業間関係 新型コロナ危機と政府の基幹企業支援策を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ERINA REPORT PLUS	6. 最初と最後の頁 3-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Yuko Adachi and Ichiro Iwasaki	4. 巻 98
2. 論文標題 Legal Weakness, Investment Risks, and Distressed Acquisitions: Evidence from Russian Regions,	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Institute of Economic Research, Hitotsubashi Univ. RRC Working Paper Serie	6. 最初と最後の頁 1-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達祐子	4. 巻 2022.3.29
2. 論文標題 ロシア企業：資源・国営の大きな影響力、政権を支えるオリガルヒ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 エコノミスト	6. 最初と最後の頁 30-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達祐子	4. 巻 72
2. 論文標題 オリガルヒへの制裁に効果はあるか - プーチン政権を支える新興財閥	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 48-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達祐子・岩崎一郎	4. 巻 55
2. 論文標題 現代ロシアの企業システムと産業組織	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 上智大学外国語学部紀要	6. 最初と最後の頁 1-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達祐子	4. 巻 2019.1
2. 論文標題 欧米との亀裂深まるロシアの行方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Economic Media Bulletin	6. 最初と最後の頁 3-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ロシアの国家による支配・企業管理
3. 学会等名 2022年度比較経済体制学会第62回全国大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ロシアにおける企業取締役の兼任関係の研究
3. 学会等名 比較経済研究会・福岡ワークショップ
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 プーチン政権とオリガルヒ
3. 学会等名 広島市立大学広島平和研究所「ウクライナへの軍事侵攻と国際社会への影響」プロジェクト研究会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 プーチン政権下の産業支配とインフォーマル・ガバナンス
3. 学会等名 一橋大学経済研究所ロシア研究センター・経済制度研究センター・共同利用共同研究拠点共催コンファレンス「世界秩序転換期における新興市場」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ウクライナ戦争とロシア経済
3. 学会等名 日本国際フォーラム・ロシアの行動倫理と日本の対露戦略研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 プーチン政権下ロシアの企業支配とインフォーマル・ガバナンス
3. 学会等名 ロシア中央アジア委員会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yuko Adachi
2. 発表標題 Russia's Oil and Gas Pivot to Asia in the Arctic? State Policies, Geoeconomics, and Market Dynamics
3. 学会等名 Crisis, Transition and (De-) Globalization in the Offshore O&G Energy Value Chain KL Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ロシアにおける政府-企業間関係の現況：大企業システムを中心に
3. 学会等名 日本国際フォーラム・ロシアの行動論理と日本の対露戦略研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 経済危機とロシア基幹企業支援
3. 学会等名 一橋大学経済研究所・ロシア研究センター共催コンファレンス・新興市場の動態把握：社会構造を揺るがす危機と変革
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuko Adachi
2. 発表標題 Business-State Relations and Russia-Style State Capitalism under Putin
3. 学会等名 Round Table/Discussion Series “ 1991-2021: Thirty Years After ”, CBEEES, Sodertorn University, Sweden
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ロシアにおける巨大企業システムの現況と課題
3. 学会等名 一橋大学経済研究所共同利用共同研究拠点 / ロシア研究センター・京都大学経済研究所共同研究拠点合同コンファレンス
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 最近のロシア企業と実業家の動向について
3. 学会等名 ロシア・中央アジア研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ロシアにおける大企業システムの現況と課題
3. 学会等名 北海道大学スラブユーラシア研究センター客員研究セミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuko Adachi
2. 発表標題 Russia's oil and gas pivot to Asia: State politics, economic development and market dynamics
3. 学会等名 Annual Conference of the Society for the Advancement of Socio-Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ロシアにおけるビジネスエリートの発展
3. 学会等名 ロシア中央アジア研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuko Adachi
2. 発表標題 Development of Business Elites in Russia: from a Perspective of Informality and Power
3. 学会等名 Institute of Russia and Eurasian Studies, Uppsala University, Research Seminar (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuko Adachi
2. 発表標題 Recent Developments in State Owned Business under Putin
3. 学会等名 ASEEES Association of Slavic, East European and Eurasian Studies Annual Convention (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ロシアのエネルギーと大企業：国家コーポレーション「ロスアトム」の発展
3. 学会等名 上智大学哈爾濱学院基金国際シンポジウム「21世紀のロシアエネルギー戦略」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 最近の国営大企業（国家コーポレーション）の動向
3. 学会等名 ロシア・中央アジア研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 ロシアにおけるビジネスと政治
3. 学会等名 日本エネルギー経済研究所・研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安達祐子
2. 発表標題 経済危機下におけるロシアの政府企業間関係
3. 学会等名 ロシア・中央アジア委員会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuko Adachi
2. 発表標題 Russia and Energy Development in the Arctic
3. 学会等名 IDE-JETRO ERIA project, Floating the energy value chain in the East Asia project
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 Yuko Adachi	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ERIA/IDE JETRO	5. 総ページ数 -
3. 書名 "Russia's Oil and Gas Pivot to Asia in the Arctic?: State policies, Geoeconomics, and Market dynamics"	

1. 著者名 安達祐子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ぎょうせい	5. 総ページ数 352
3. 書名 新しいヨーロッパ学:第2章 ヨーロッパとロシアの経済関係:エネルギー資源を中心に	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------